

令和2年3月5日

指宿市教育委員会
教育長 西森 廣幸 殿

指宿市望ましい学校づくり調整会議
開聞中学校区会議会長

指宿市望ましい学校づくり調整会議（開聞中学校区会議）報告

指宿市望ましい学校づくり基本方針に定める指宿市立小学校の望ましい学校づくりを円滑に推進するため、開聞中学校区では、平成30年6月15日（金）に開催した第1回の調整会議を皮切りに、4回の中学校区会議とそれぞれの小学校区会議を1回開催し、協議して参りました。

つきましては、指宿市望ましい学校づくり調整会議設置要綱第9条第2項の規定に基づき、別添のとおり現在までの協議過程結果を報告いたします。

なお、別添参考資料に記載しましたこれまでの協議過程における委員の意見等も参考とさせていただきますよう申し添えます。

指宿市望ましい学校づくり調整会議（開聞中学校区会議）報告書

1 調整会議（中学校区会議）の開催

- ・ 第1回 平成30年6月15日（金） 於：ふれあいプラザなのはな館
- ・ 第2回 平成30年11月29日（木） 於：開聞総合体育館
- ・ 第3回 令和元年6月13日（木） 於：開聞農村環境改善センター
- ・ 第4回 令和元年10月28日（月） 於：開聞農村環境改善センター

2 小学校区会議の開催

- ・ 開聞小学校区会議 令和元年7月30日（火） 於：開聞総合体育館
- ・ 川尻小学校区会議 令和元年7月31日（水） 於：川尻ふれあい交流館

3 望ましい学校づくり基本方針に対する開聞中学校区会議の意見

(1) 小学校の学校規模の適正化について

ア 開聞小学校区の意見

- ・ 基本方針に基づき、川尻小学校との集約を目指してほしい。
- ・ 集約時期については、具体的な協議を進めながら定めてほしい。
- ・ 「地域」より「子供」を優先して検討してほしい。

イ 川尻小学校区の意見

- ・ 川尻小学校を存続させたいという意見もある。
- ・ 基本方針に基づき集約するとしたら、川尻小学校に集約してほしい。
- ・ 学校再編が必要という意見もある。
- ・ 特認校制^{*}の活用について検討してほしいという意見もある。

(2) 中学校の学校規模の適正化について

- ・ 学校再編が必要である。
- ・ 将来的なビジョンを持っておく必要がある。
- ・ 市内のすべての中学校が適正規模になるように早急に学校再編を進めてほしい。

(3) その他の意見

- ・ 開聞小学校と川尻小学校が再編に向けて進んだ場合は、集約する学校について要件を定め、開聞小学校に集約する場合や川尻小学校に集約する場合など、選択肢をいろいろ出して検討を進めてほしい。
- ・ 開聞・山川地域の小中学校を1校に再編する案を引き続き調査研究してほしい。
- ・ 最終的には、子供たちにとって何が本当に大切なのか再確認する必要がある。

※特認校制（学校選択制のひとつ）

従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認めるもの。

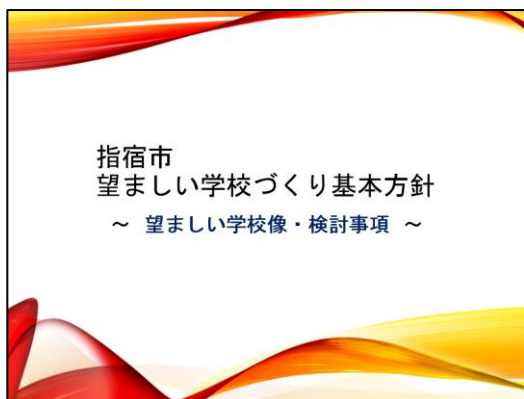
学校選択制には、他に市内すべての通学区域を廃止する『自由選択制』や特定の地域のみ自由に学校選択ができる『特定地域選択制』などがある。

開聞中学校区会議における望ましい学校づくりに関する協議過程

1 第1回 開聞中学校区会議（合同会議）

- 日時：平成30年6月15日（金） 18時30分～20時30分
- 場所：ふれあいプラザなのはな館 視聴覚室 他
- 内容：基本方針の概要，役員選出，グループ協議（ワークショップ）

（1）基本方針の概要



平成30年3月に策定した「指宿市望ましい学校づくり基本方針」に基づく学校像と、これからの検討事項

【基本方針に定める望ましい学校づくり】

中長期的な視点に立ちつつ，当面の課題（過小規模校の解消）を解決するために学校規模の適正化を図る。

開聞地域では，保護者や地域住民との協議を重ねながら2021年度を目途に2小学校を既存校1校に集約することを目指す。



【集約までのスケジュール】



- ① 保護者を対象とした説明会やアンケートなどを実施して，基本方針の周知後，「基本方針に基づいて協議を進めてよいかどうか」を協議する。
- ② 学校集約の条件について協議するとともに，集約する学校位置や通学方法などについて検討する。
- ③ 学校跡地の活用方法，施設・備品等の協議，学校行事・事前交流等の協議を進めるとともに，式典行事やPTA等の組織の協議などを行う。

(2) グループ協議 (ワークショップ) のまとめ

ア 開聞小学校区の意見のまとめ

○小中一貫教育について

・旧開聞地域として、学校を存続させるために、小中一貫校も考える必要がある。

・小中一貫教育を進める上で、現状分離型であるなら、小学校1校中学校1校が進めやすい。

・施設一体型ではなく、小学校、中学校がそれぞれ単独でいいと思う。

○子どもの意見は？

・開聞と川尻の子どもたちはどう思っているのかも生の声を聞いてみたい。

・少年団の子どもたちはとても仲良くやっていると思います。(バレー女子)

・現在、大人の考えで進めているが、子どもたちはどう思っているのだろうか、気になる。

○基本方針どおり進めてほしい

・3月に策定された基本方針に従い、望ましい学校づくりを進めてほしい。

・予算や備品等、2校分あると効率的に柔軟に活用できる。

・児童・生徒が減少する中で、規模の適正化を図る必要があるのでは。

・適正規模にするためには2小学校を1小学校に集約したほうが望ましいのでは。

・開聞地域全体が活性化できるようになるには…のことで、学校再編とは切り離して考えるべき。子どもファーストであるべき課題。

・今回からの参加であり、これまでの経緯はあまりわかりませんが、地域の実情(損得感情)よりも、将来を担う子どもたちへの教育のあり方を最優先すべきではないか。反対する意見を耳にすると、学校が廃校となれば地域が活性化しない、寂しくなる等の大人の考えしか耳にしないような気がする。私は今回示された案に賛成する。廃校されるのが望ましくないなら、地域として特認校のような制度も考慮し、もっと地域が盛り上げるべきではないか。

○開聞・山川の集約には反対

・開聞地域のみを集約校、山川地域のみを集約校はいいと思うが、開聞・山川を全て集約することには、あまり賛成できない。

○少子化

・少子化の中で環境整備は大変であるようです。学校施設・遊具も古く使えないものもあるようですが。

・児童数の減少に伴い、少年団活動が厳しくなってきた。児童数は多い方が活動しやすい。

・専科の教員が必要な学ぶときもあると思います。

・学校行事の準備等も人手が必要だと思います。

・一番古い校舎について愛着がありますが、あちらこちら危ないところがあり、対応をしていただきたい。

・クラス替えができるように。

○学校再編について

・小・小再編ではなく、小・中再編への切り換えではどうなのでしょうか。

・山川が先に小中一貫校を始めたら、開聞小・中もそこへ編入してみたいと思う。(個人的に)

・逆に開聞小が山川校区への再編もありなのではないか。(新校舎で)

・反対の取り組み、地域との組み合わせの問題があり、今後の方向性も別な取り組みがあってもいいのでは。

・開聞中と山川中と再編があった場合、川尻の立場は変わらないのかどうか聞いてみたい。

○小規模校の良さ

・小規模校は小規模校で地区との交流もあり良いと思う。小規模であることでの良いところを残したい。

○子どもの不安

・児童数が増えれば、今、小規模に慣れている児童たちの戸惑いや不安も増えると思う。

○少人数の親の負担

・少人数や複式となった場合、修学旅行等、負担が大きくなるのではないかと。

○行事について

・地域行事についても、大きな学校になったら地域を問わず協力できるのでは。

・開聞小の運動会を見ている姿もとても楽しそうに(うらやましそうに)見ておられました。開聞も、丹波や柳田がうらやましいですが。

イ 川尻小学校区の意見のまとめ

○基本方針に反対

- ・基本方針(適正規模)は進めるべきではないと思う。
- ・2校を1校にしないでいい。

○住民の声について

- ・山川地域を優先して、開間地域は住民への理解を求めるべきだ。
- ・アンケートは無視されている。
- ・今までの経緯を踏まえて考えると、反対意見が多くても、出された基本方針どおりに進んでいってしまうのかなという不安がある。
- ・教委が良い考えを集約して、結果何も変わらない。

○地域との関係

- ・歩いて登下校しなくなるため、地域住民との関わりが薄くなることは？地域の教育力の低下につながるのでは？
- ・地域にとって小学校はコミュニティの核である。

○平成33年度の集約は早い

- ・H33年度を目途にという考え方は早いような気がする。
- ・33年度は早すぎる。
- ・保護者の反対意見も多い中、H33年度を目途にというのは時期として早すぎるのかなと思う。
- ・33年度を目途の根拠は？じっくり説明してほしい。
- ・川尻元気プロジェクトで地域が盛り上がり、移住者も入った。長い目で再編は考えるべき。
- ・3年間で集約できるのか。スケジュールはどのようになっているのか。

○山川地域との再編について

- ・開間地域だけの統合ではなく、山川地域も一緒に考えたらどうか。
- ・どのみち山川との合併があるなら現状のままでもいい。
- ・施設一体型の新設の目途は何年くらいあるのか。

○その他の意見

- ・各学校ごとの学力を示してほしい。(小さな学校がいけない理由)
- ・基本方針の方向性としては、小学校を1校に…とのことだが、先に中学校を1校に…というのはできないのだろうか。(小中一貫教育が難しくなってしまうのでしょうか?)
- ・使われなくなった校舎の管理が決まるまでの間は誰が？
- ・川尻小学校を残し、山川地域が大きくなって困った児童が入れる逃げ道をつくる。

○小さい学校のほうがいい

- ・教育に関しても、少数のほうが効率的。コールマン報告で証明済み。
- ・低学年においては、学習習慣の定着・見届け等少人数であるために指導が徹底する。
- ・少数の学校が世界の流れ。WHOは100人以下を望ましいとしている。
- ・小さな学校へ来るようにも考えるべき。

○事務局の進め方について

- ・保護者・地域住民との協議は何回くらいやるのか。
- ・説明ではメリットが多く話されていた。デメリットについての情報もあるはずだが、今後行われる説明会ではどちらも話していただき、保護者の意見を聞いてほしい。
- ・仮にスクールバスでの通学となった場合、忘れ物をして乗り遅れてしまったりすることがあると思う。そのときは結局保護者の送迎になるのでは？(自分の甥っ子、姪っ子の中学校が統合されている。祖父母が上記理由でよく送迎をしている。)そういう細かい不安はどの程度くんでもらえるのでしょうか。

○川尻小学校に集約してはどうか

- ・開間地域が合併を望むのなら、川尻小に集めれば？
- ・交流学習をいつも開間小に行くと、子どもがそのつもりになる。川尻小で実施してほしい。
- ・川尻小は地域と学校が一体となって教育を進めているので、開間小が川尻小にきてほしい。
- ・2校を1校に目指すなら、開間の児童を川尻に集約してほしい。
- ・大きな学校に集約する理由をコストで考えてほしくない。

○適正化の必要性

- ・教育活動をより充実させるためには、学校規模の適正化を図ることは必要である。1学年20名はほしい。
- ・学級に同性が1~2人になってしまう場合の課題。(社会性、人格形成上、中学校進学、その他)
- ・学び合いによる学習の深まり。体育、記録会等での選手の選出。
- ・複式学級になることにより、職員減、校務分掌の課題あり。
- ・気になることは複式学級るとき、子どもたちの学習内容の充実が心配である。
- ・教育課程編成上の課題

- ・ある程度の方向性は持っていかなければ、物事が進まないと思われませんが、主体は子どもなので、それを主として親がよい方向へサポートしていきたいと思う。

- ・ネットを活用した交流を図る。

2 第2回 開聞中学校区会議

- 日時：平成30年11月29日（木） 18時30分～20時30分
- 場所：開聞総合体育館 第1会議室
- 内容：調整会議の今後の進め方について小学校区ごとに協議

【小学校区ごとの意見】

開聞小学校区の意見
<ul style="list-style-type: none">・中学校区で一体となって進められないなら、別な策を出さないといけないのではないかと。・学校の統廃合が、地域の衰退の大きな本当の原因なのだろうか。・先生方に子どもたちの教育向上や体力向上など、いろいろな向上について、「どのような環境であれば、どのような子どもたちに育てられるのか」というような意見を聴取してほしい。・学校が地域防災拠点となり得るような大きい新校舎を構え、開聞小、川尻小、開聞中を一緒にしてはどうか。
川尻小学校区の意見
<ul style="list-style-type: none">・「2021年度は早過ぎる」「急ぎ過ぎ」という意見が多い。時間をかけながら、検討を進めていくべきではないか。・川尻小学校区では大多数の方が、平成29年度に行われた住民説明会で「反対」という意見を出している。先に保護者への意見交換会をしたとしても、その後、地域住民との意見交換会をするなど、段階を踏んで協議していかないといけないのではないかと。・川尻小学校は地域にとって歴史的、文化的な背景が特に強い。基本方針が2021年度となっているが、それを凍結して進めるべき。・防災という観点でも「地域に若者を」ということは必要だと思う。「学校が無くなると心配だ」と、みんな不安に思っているので、統廃合が原因で地域が衰退すると思っている。

3 第3回 開聞中学校区会議

- 日時：令和元年6月13日（木） 18：30～20：30
- 場所：開聞農村環境改善センター 2階会議室
- 内容：第2回開聞中学校区会議で出された意見に対する教育委員会の回答
中間報告について小学校区ごとに協議

【今後の進め方について】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・これまでの協議状況をまとめた中間報告書をまとめる。・小学校区会議の意見・中学校区会議の意見をまとめて教育委員会に提出する。 |
|---|

【その他の確認事項】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・公的な書類等については、開聞中学校区会議で協議した上で提出することとした。 |
|--|

※この他、小学校区ごとに分かれて協議を行ったものの、意見集約に至らなかったため、次回の中学校区会議までの間に各小学校区の会議を開催して意見を集約し、次回の中学校区会議で中学校区の意見の集約を図ることとした。

4 第1回 開聞小学校区会議

○日時：令和元年7月30日（火） 19：00～20：50

○場所：開聞総合体育館 第3会議室

○内容：開聞小学校区の意見集約の協議

【小学校に関する意見】

- ・基本方針は子供たちのために慎重に検討した結果であるので進めるべき。
- ・開聞地域に住んでいる以上、まずは川尻小と一緒にすることを考えるべき。
- ・学級数が増えなくても、人間関係の固定化の解消には児童数は多い方がいい。
- ・「地域から学校がなくなる」ということではなく子供たちのことを優先するべき。
- ・時期尚早と言うが、いつならいいのか。時期が適正ならば待つでもいい。
- ・開聞小と川尻小が再編となった場合、いろいろな選択肢を検討してほしい。

【中学校に関する意見】

- ・将来的なビジョンを持っておくべき。
- ・開聞小・川尻小・開聞中が一緒になっても中学校の規模は変わらない。

【その他の意見】

- ・最終的には、子供たちにとって何が本当に大切なのか再確認する必要がある。

5 第1回 川尻小学校区会議

○日時：令和元年7月31日（水） 18：30～19：50

○場所：川尻ふれあい交流館 1階和室

○内容：川尻小学校区の意見集約の協議

【小学校に関する意見】

- ・川尻小を存続させたい。
- ・再編する場合は、川尻小に集約してほしい。
- ・児童を増やすための手立てをしていきたい。
- ・特認校制度を活用してはどうか（特認校の説明を記載してほしい）。
- ・一方で再編は必要という意見もある。

【中学校に関する意見】

- ・ぜひ学校再編してほしい。
- ・市全体で2～3校程度になるよう調査研究を進めてほしい。
- ・「調査研究してほしい」という意見と「早急に再編してほしい」の両意見がある。

6 第4回 開聞中学校区会議

○日時：令和元年10月28日（月） 18：30～20：30

○場所：開聞農村環境改善センター 2階会議室

○内容：中間報告について中学校区の意見集約

【小学校の学校規模の適正化について】

開聞小学校区の意見

- ・基本方針に基づき、川尻小との集約を目指してほしい。
- ・集約時期については、具体的な協議を進めながら定めてほしい。
- ・「地域」より「子供」を優先して検討してほしい。

川尻小学校区の意見

- ・川尻小を存続させたいという意見もある。
- ・集約するとしたら、川尻小に集約してほしい。
- ・学校再編が必要という意見もある。
- ・特認校制[※]の活用も検討してほしいという意見もある。

【中学校の学校規模の適正化について】

- ・学校再編が必要である。
- ・将来的なビジョンを持つておく必要がある。
- ・市内のすべての中学校が適正規模になるように早急に学校再編を進めてほしい。

【その他の意見】

- ・開聞・山川地域の小中学校を1校に再編する案を引き続き調査研究してほしい。
- ・最終的には、子供たちにとって何が本当に大切なのか再確認する必要がある。

※特認校制（学校選択制のひとつ）

従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認めるもの。

学校選択制には、他に市内すべての通学区域を廃止する『自由選択制』や特定の地域のみ自由に学校選択ができる『特定地域選択制』などがある。